

仙台の特別支援教育が目指すもの 大切なひとり 共に生きるみんな



A 児童生徒における相互理解の促進

- 1 各教科等での理解促進
- 2 交流及び共同学習の推進
- 3 居住地校交流の推進

B 教職員における障害理解・障害者理解の促進

- 4 校内での情報共有
- 5 関係機関との情報共有による多角的な児童生徒理解の推進
- 6 特別支援教育推進資料等による理解促進

C 保護者・市民に対する特別支援教育の理解促進

- 7 特別支援教育の理解促進
- 8 障害のある児童生徒の地域交流の推進
- 9 本プランの積極的広報



G 教育課程の適切な編成及び運用

- 29 小中学校特別支援学級における適切な教育課程の編成
- 30 特別支援学校における社会的ニーズを踏まえた教育課程の編成
- 31 評価と指導を一体化させた授業づくりの推進

H 特別支援教育に関する教育環境の整備(基礎的環境整備と合理的配慮の提供)

- 32 就学支援体制の充実
- 33 通級による指導体制の充実
- 34 入院中の児童生徒への教育機会の確保
- 35 医療的ケア児の支援体制の充実
- 36 高等学校等における特別支援教育体制の整備
- 37 多様な教育的ニーズに対応するための教育環境の整備
- 38 特別支援学級の施設設備整備

I 新たに現出する課題への対応

- 39 教育委員会による調査及び検討の実施

認め合い、学び合う仙台の子ども



ふかめる

多様性を認め合い、相互理解を深めることで、子ども一人ひとりが安心して過ごせる学校・地域を目指します。

たかめる

学校の教育力や教員の指導力を高め、子ども一人ひとりの個別最適な学びにつなげます。

つなぐ

学校・家庭・関係機関・施策等をつなぎ、子どもを中心においた、継続的で一体的な切れ目のない支援の提供を目指します。

つくる

持続可能で多様性に応じることのできる教育資源を創出し、子ども一人ひとりの学びと成長を支えます。

せんせい! わかるっぴのしいね!



D 教員の指導力・専門性の向上

- 10 特別支援教育の基本的理解の促進
- 11 特別支援教育の視点を持った学級経営・授業づくりの推進
- 12 校内外の教育資源を活用した課題解決力の向上
- 13 特別な教育課程の編成及び個別的教育支援計画等の作成方法の習熟
- 14 様々な障害理解と障害特性に応じた指導を行う力の向上
- 15 障害のある児童生徒の保護者への質の高い支援
- 16 同職種と情報共有する機会の充実
- 17 幅広い知識と技能の習得
- 18 専門的な知見を活用した指導実践
- 19 鶴谷特別支援学校のセンター的機能の充実
- 20 特別支援教育を踏まえた学校経営
- 21 専門性を蓄積していく校内の仕組みづくり
- 22 校園内における特別支援教育の推進

E 多様な教育的ニーズに応じた支援の充実

- 23 ICT 活用技術の向上
- 24 医療的ケア児への支援の充実
- 25 発達障害児教育検討専門家チーム等の活用
- 26 鶴谷特別支援学校のセンター的機能の活用

F 実践的研究の推進

- 27 大学との連携による実践研究の推進
- 28 実践研究協力校の更なる推進と工夫

だれでも! いつでも! どこでも!



J 切れ目のない一体的な支援の実現

- 40 各ライフステージにおける切れ目のない支援の実施
- 41 各生活場面における一体的な支援の実施
- 42 各施策をつなぐ部局間の連携強化

K 学校卒業後の社会参加の充実に向けた支援

- 43 特別支援学級・特別支援学校と労働関係機関等との連携の推進
- 44 仙台自分づくり教育の推進
- 45 生涯学習に関する情報提供の充実

L 本プランの理念の共有

※本プランの積極的広報(C-9 再掲)